▲みんなで一生懸命植えた花の苗は、児童館と特別養護老人ホーム「コクーン」に飾っています

花 人権の花運動 植えを通して、思いやりを学ぶ

「人権の花運動」の植栽作業が６月６日、町人権擁護委員の協力により町児童館で行われました。小学１、２年生の児童約 40 人が協力し、プランターにマリーゴールドやサルビアなどの色鮮やかな花の苗を植えました。また、植栽前には、人権擁護委員の髙橋徹さんから話があり、人権について学びました。

この運動は、主に小学生を対象とした啓発運動で、子どもたちが協力して、花を育てることにより生命の尊さを実感し、豊かな心を育み、優しさと思いやりの心を得ることを目的としたものです。

町 追分長寿会の駅前花植えボランティア活動 の玄関口を花いっぱいに

追分長寿会による花植えボランティア活動が６月 14 日、桑折駅前で行われました。会員 18 人が協力して、赤やピンク、オレンジなどのさまざまな品種 10 種類の花の苗を花壇に植え、駅前を色鮮やかに彩りました。

朝からの強い日差しの中、今年は 500 本もの苗を参加した皆さんの頑張りで植えることができました。

皆さんは「やはり町の玄関口である駅がきれいになると気持ちが良い」と清々しい笑顔で花を眺めながら話していました。

▲楽しく触れあいながら植えられた花が、駅前を明るく飾っています

▲「家族みんなで減塩に取り組んでもらいたい」と「食育の日」を PRする食改さん（写真左）

食 ６月は食育月間 改さんが「減塩」を PR

毎年６月は「食育月間」、毎月 17 日は「減塩の日」、毎月 19 日は「食育の日」です。それにともなって、町食生活改善推進員会で普及活動が行われました。当会では、乳幼児健診や栄養改善事業時に、適正塩分の汁物の試食や家庭の味噌汁の塩分測定などを実施しています。今月は、町内２カ所のスーパーで、減塩おすすめレシピとパセリの種を配布し、食育の日を PR。配布物を受け取った人は「レシピは参考になるのでうれしい」と話していました。今後もさまざまな年代の人に「減塩」を普及していきます。

町 醸芳中学校フラワーロードギャラリー制作開始 の好きな風景を陶板で表現

桑折駅前復興公営住宅前で見る人を楽しませている、醸芳中学校フラワーロードギャラリーの第３弾作品制作が始まりました。

昨年に引き続き、だて西ロータリークラブより、作品に使う陶板と絵の具が中学校に寄附されました。生徒らは「制作活動を通して、地域の魅力を再発見したい」、「町の良いところを一人でも多くの人に伝えられる作品を作りたい」などとと意気込みを語りました。

今年は、文化部の生徒 11 人が挑戦。夏休みの期間に自分の好きな町の風景を陶板に書き込み、秋ごろに完成する予定です。

▲醸芳中文化部の生徒がだて西ロータリークラブの皆さんとともに無事の完成を願い記念撮影

▲役場内のすべての部署を回り、元気よく募金の協力をを呼びかける児童たち

半 緑の少年団が募金活動 田山の美しい緑を守りたい

半田醸芳小学校の４～６年生で構成している「緑の少年団」が５月 29 日、役場を訪れ、緑の羽根の募金活動をしました。

緑の少年団は、子どもたちが緑に親しみ、愛し、守り育てる活動を通じて、ふるさとや人を愛する心豊かな人間に育っていくことを目指しています。今年は新しい制服に身を包み、町役場をはじめ、福島北警察署桑折分庁舎などの町内各所を訪問しました。役場を訪れた 11 人の緑の少年団は、担当の役場職員に案内されながら庁舎内を回り「募金をよろしくお願いします」と大きな声で職員に呼びかけていました。

再 桑折 LC 事業で半田醸芳小とルーマニア観光局長が交流 生農地に「復興の種まき」

桑折ライオンズクラブ主催の「次世代を担う子どもたちと共に行う里山づくり」が６月 12 日に行われ、半田醸芳小６年生と、ルーマニアのシェルバン・アレキサンダー観光局長夫妻らが参加しました。

第１部では、南半田の再生農地で、半田銀山そばの会の指導のもと、そばの種まきに挑戦。秋には、収穫やそば打ち体験を計画しています。

第２部では、小学校に場所を移し、シェルバン夫妻よりルーマニアの学校の仕組みや食事、街並みなどについて話を聞きました。

ルーマニアは、東日本大震災復興を子どもの絵や手紙で支援しました。

▲「ルーマニアにはそばが無いので、貴重な体験で楽しかった」と話すシェルバン夫妻

▲増水した想定で堤防からシートを投入する町消防団第２・第３分団の皆さん

洪 阿武隈川上流総合水防演習 水から守ろうみんなの地域

阿武隈川上流総合水防演習が５月 26 日、本町を含む流域 23 市町村と県、国土交通省東北地方整備局の主催で実施されました。消防団員ら約 1,400 人が郡山市富久山河川敷で訓練に臨み、災害時への備えを確認しました。今回の演習では、大雨による阿武隈川増水を想定し、行動計画に沿った関係機関の連携確認や、水防工法の実践訓練を実施。本町消防団は、川側の堤防崩壊や透水を防ぐ「シート張り工法」に取り組みました。消防団による水害を防止・低減するための水防活動は、わたしたちの生命・財産を洪水から守る重要な役割を担っています。

災 町消防団春季検閲 害に備え、日頃の訓練成果披露

消防団検閲が６月 23 日、ふれあい公園で行われ、消防団員と女性防火クラブ員ら約 200 名が参加しました。

当日は、分列行進や通常点検、各種訓練披露が行われ、ラッパ隊による演奏披露を始めに、３分団２部、４分団１部が小隊訓練を、１分団３部が消防ポンプ車操法を、１分団４部、２分団３部が小型ポンプ操法を、女性消防隊が軽可搬ポンプ操法をそれぞれ披露しました。続く式典では、団長から消防活動に貢献した団員に対し、各種表彰が行われました。

参加団員は、町民の信頼に応えられるよう決意を新たにしました。

▲全国女性消防操法大会に出場予定の女性消防隊による、はつらつとした操法披露